

国道1号 五条大橋 「長寿を祝う会」を行いました。

【日 時】平成28年 9月 3日(土) 9:00~9:30
 【場 所】五条大橋(国道1号) 西詰め「牛若ひろば」
 【目 的】五条大橋をよく知って頂き、末永く地元に残り、大事に使って頂けるように、「長寿を祝う会」を行いました。
 【参加者】京都市、五条大橋をきれいにする会((公社)下京納税協会)、NPO うるわしのまち・みちづくり 下京税務署、きょうと留学生ハウス、西日本高速道路(株)、京都国道事務所他



挨拶 馬渡 真吾 京都国道事務所長

橋は、きちんと補修をして大切に使い、何十年、百年ともつものであります。地域の皆様とともに大切に管理し、使っていくことが重要です。今日の長寿祝い及び橋洗いを通して、橋を大事に、そして末永く使っていくことを、皆様とともに、改めて共有する日にしたいと思います。

祝 辞



田中 伸弥 様
京都市 建設企画課長

公共の施設は適切な維持管理、大事にしていくということが非常に大事です。本日の橋洗いで、いつまでも長く保たれることを記念してお祝いの言葉とさせていただきます。



浦尾 たか子 様
五条大橋をきれいにする会

五条大橋は私たちの共通のインフラ資産、ライフラインを支える重要な役割を担っている大切な橋です。「橋洗い」を通じてインフラ整備の大切さを広げたいと思います。

五条大橋にまつわる話



鷲頭 雅浩 様
京都市 東山区長

五条大橋は平安時代から京都では一番重要な橋として位置づけられていた。下京区と東山区を結ぶ橋として愛され、きれいな橋として続いていくことを心より記念したい。



田中 信行 様
料理旅館「鶴清」

五条大橋は小さい頃から渡っていた。五条大橋を守るために何かをする。橋洗いはその心掛け。国交省だけでなく、地元の間人は何かすると言うことが大事。

五条大橋 長寿祝いパネル展



下京税務署



清水五条駅(京阪)

2 五条大橋の変遷



平安時代、現在の五条通は六条坊門小路と呼ばれていました。六条坊門小路の鴨川には橋が無く、豊臣秀吉が天正18年(1590年)に当時の五条通(現松原通)の橋を、現在の場所に移建しました。現在の橋になるまでには、洪水・大火などで幾度も改築されています。明治時代は木製の幅6mの橋でしたが、昭和34年(1959年)に架け替えられ、今の姿になりました。

リーフレットと五条大橋「橋洗い」参加記念カード



五条大橋「長寿祝い」「橋洗い」の参加者にリーフレットと記念カードを配布



名: 五条大橋
所在地: 京都府京都市東山区・下京区
路線名: 国道1号
形式: 3径連続鋼非合成板桁橋
架設年次: 昭和34年
橋長・幅員: 67.2m・35.0m
管理者: 国土交通省



京都 橋のある暮らし

五条大橋の紹介
橋の歴史
橋を守る
橋を大切に使う



五条大橋 長寿祝い、第2回橋洗い
平成28年9月3日(土)
五条大橋をきれいにする会(下京納税協会)、国土交通省京都国道事務所